



小さな森に レスター・ブラウン氏を迎えて

木下紀喜

(関さんの森を育む会)

世界的に著名な米国の環境問題研究者、啓発活動家であるレスター・ブラウン氏が、5月下旬に千葉県松戸市にある、市民団体が保護管理している「関さんの森」を訪れ、森の中でのミニ集会に出席して、都市部に残された森林の保護の重要性について訴えた。

レスター・ブラウン氏は、米国農務省の国際農業開発局長を務め、1974年ワールドウォッチ研究所を創設、世界規模での環境、食料、エネルギー問題について提言してきた。1984年に「地球白書」を刊行、最近では、「エコ・エコノミー」(2001年)、「プランB」(2003年)を出版。2005年には「プランB」をアップデートした「プランB2.0」を発表、来日を記念して、その日本語版が発刊されている。

一橋大学の招きで来日した同氏は、大学関係者の中に「関さんの森」の元所有者がいた縁で、忙しい日程をさいて訪れたもの。爽やかな風が吹き抜ける初夏の緑の中、森に集まった80人ほどの参加者を前に、これからの環境、食料、エネルギー問題について、同時通訳により1時間余にわたってわかりやすい講義をしていただいた。

森を守る市民活動を評価

ブラウン氏は1.1haの林内を散策した後、この森の元の所有者から、父親から相続した森林をこのままの状態を残すため公益法人に寄付するに至った経緯、この森を管理するボランティア団体から、森が子供たちの環境教育や市民ボランティア活動の場、住民の健康と癒しの場となっていることの説明を受けた。また、地価の高い都市部では、このような森

を維持管理することが大変困難である日本の現状を説明した。

バードウォッチング好きの同氏は、この森で年間40種類の野鳥が観察されると聞いて、エコシステムを学ぶ最適な場所としてこの森を評価。この地でも珍しいエゾムシクイが頻りにさえずる中で、ブラウン氏の講演が始まった。

森林の重要性については、1998年の中国長江での大洪水を例にして、4億人の人々が暮らすこれらの流域で、政府は森林の伐採を禁止せざるを得なかったが、洪水防止という森林の機能は、そこから生産される木材よりはるかに価値があるという教訓を学んだこと。

また、森林の持つ健康回復機能について日本でも研究が進んでいることに関連しては、米国の例で、



「関さんの森」全景。スダジイ・シラカシ・ケヤキ・コナラ・イヌシデ・シロダモなど50種類の樹木が都市に森をつくる。松戸市の特別保全樹林地区に指定されている。

2006年(平成18年)5月22日(月曜日)

「小さな森にも大きな価値」

松戸 里山「関さんの森」で米研究者が講演会



「関さんの森」内を観察して回るブラウンさん(松戸市)で

住宅街に残る貴重な里山「関さんの森」(松戸市幸谷)で二十一日、環境問題研究者として知られる米国のレスター・ブラウンさんの講演会が開か

れた。ブラウンさんは「関さんの森」をめぐり、市民らと交流した。講演の冒頭で、ブラウンさんは「関さんの森は、環境問題研究者として知られる米国のレスター・ブラウンさんの講演会が開か

れた。ブラウンさんは「関さんの森」をめぐり、市民らと交流した。講演の冒頭で、ブラウンさんは「関さんの森は、環境問題研究者として知られる米国のレスター・ブラウンさんの講演会が開か

の中を観察して回った感想を述べた。さらに、子どもたちがエコロジーなどを学ぶ大切な場所であり、人の健康にも貢献していることを強調。「小さな森にも大きな価値があることを認識してほしい」と訴えた。また、青

都会に残された貴重な森を守り育てることは、青少年が環境問題を体験する良いきっかけになるとして、その機会を増やそうとする我々の活動に対して強いエールを送ってくださったブラウン氏の「関さんの森」訪問は、think globally act locallyを地で行く行動であった。

駐車場に面した病室の患者達は、木、花、鳥や彩られた庭を見渡せる病室の患者に比べ病気の回復により長い時間を必要としたことなど、具体的な事例を基にわかりやすく解説してくれた。

会場から、森林を公共財として将来の残すための有効な解決策はないか、との質問に関しては、森林の重要性を専門家の意見を通して社会にアピールする、マスメディアで取り上げてもらう、政治の場で解決するなどの方法を挙げ、特効薬的な解決法は無いという意見のようであった。

新しい経営スタイル・・・
プランBをめざして

ブラウン氏は、ガソリンの高騰を嘆く一方でそれより高いボトル入りの水を平気で買って飲む生活スタイルに警鐘をならし、「昨日の続きは今日、今日の続きは明日」といった20世紀での社会の延長で社会経済を運営していくなら(これをプランAとよぶ)環境の悪化により世界経済は衰退し、ついには崩壊する。経済発展を持続させるためには、「プランB」という、エコ・エコノミーをめざすべきとの提言をしている。

そのためにはリサイクル、リユース等省資源を進め、化石燃料を風力、水力等の再生可能エネルギーへの利用を高めるなど、社会経済システムへの転換しなければならない。



小さな森にビッグなお客さま



レスター・ブラウン氏をかこんで